

付、獣害対策などの各種業務を実施しており、今年度は生産事業地の一部が生産性向上実現プログラ



南木曾岳と北蘭国有林、蘭地区

部内の国有林は人工林率が約六割で、年間約一万立方メートルの木材生産事業のほか、森林育成事業、境界巡検、継続貸

蘭森林事務所は、長野県木曾郡南木曾町吾妻に所在し、町のシンボルである南木曾岳南側の北蘭国有林、南蘭国有林、賤母国有林、約五、三〇〇畝を管理しています。

【南木曾支署 蘭森林事務所】

首席森林官 反中 孝一



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



ヘリコプター集材荷下ろし土場の様子

また、古くから南木曾ろくろ細

ムのモデル事業地となつていませう。当地には観光地としても有名な「妻籠宿」があり、中山道と伊那街道が交差する交通の要衝として古くから賑わっています。妻籠宿から大妻籠を経て馬籠峠を越えれば「木曾路はすべて山の中である。…」小説『夜明け前』の著者、島崎藤村ゆかりの地「馬籠宿」があります。妻籠宿は重要伝統的建造物群として文化財に指定されており、周辺の自然景観維持のため、北蘭・南蘭国有林の一部の事業実行に当たっては景観に配慮しています。

さらに、南木曾岳南山麓の北蘭国有林は、木曾谷南部の典型的な生物群集を有する森として「南木曾岳生物群集保護林」に、賤母国有林では木曾谷の多くの森林と異



原皮師による檜皮採取の様子

て、貴重な機会となっております。

工や、蘭松笠など伝統工芸が盛んに行われている地域でもあり、「南木曾伝統工芸の森」、「檜皮の森」として『木の文化を支える森づくり』のため、協働で森林整備・保全活動を行っています。特に檜皮の森に於いて、毎年行われる社寺・仏閣用の檜皮の採取は、地元小学校や林業大学校にとつて、貴重な機会となっております。



妻籠宿の町並み (写真提供：南木曾町役場)



蘭森林事務所にて、右端が著者

なる特異な植生を形成していることから「賤母生物群集保護林」に設定されており、貴重な森林の適切な保護・管理のために林野巡視等を行っています。

■未来の担い手へのメッセージ

あるウェブニュースで、伝統工芸品の「ストーリーを伝える」ことが重要と報じられていました。自分なりに、国有林で産出された原材料が供給され、伝統工芸品になっているというストーリーの必要性を感じます。

今後文化の継承や地域振興に国有林として、貢献していきたいでしょう。

ある金華山国有林において、民有地との境界沿いで枯損などの被害により倒伏の恐れのあるものを伐

発注者：岐阜森林管理署

事業（金華山保全）

請負事業：地域連携推進等対策

■事業の概要



有限会社 根尾開発

中井 大夢
(二〇一六年入社)



受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



高所伐採に向かう著者

間伐などはできませんが、大径木等危険を伴う立木の伐倒は、経験豊富な先輩からアドバイスを受けます。

■現場での役割、魅力

まだ入社三年目であり、現場では主に4名の班で地拵、植付、下刈、除伐などの造林作業を行っています。

倒・整理するとともに森林を保全管理し自然再生を推進する事業です。この地域はイノシシの出没も多く、地域の被害対策協議会とも連携する中で、この事業により緩衝帯としての効果も期待されています。

また、自ら選択した仕事に就くことで、充実感とやり甲斐が持て

ました。

岐阜市の北部で生まれ育った私は、幼少期から外で遊ぶことが好きで、将来は屋外で汗を流す仕事に就きたいと思っていました。岐阜農林高校へ進学し、二年生の時に山仕事インターシップに参加し、チェーンソーを用いた伐採や林業機械の操作体験で、大木が倒れる姿に圧倒されるとともに、山仕事の達成感を肌で感じ将来の仕事にしたいと考えるようになりました。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ
なから、正確にそして安全に伐倒出来るよう技能を鍛錬中です。林業の技術は一朝一夕には身に付きませんが、色々な作業を経験し覚えていくことが重要だと思います。これからもじつくりと腰を据えて技術を習得し、美しい森を次世代に残すために、森林の担い手として頑張っていきたいと思っています。



伐倒した枯損木の整理

■未来の担い手へのメッセージ
林業の現場は厳しい労働環境で危険も伴いますが、無事に仕事をやり遂げた後の達成感がたまりません。現場職員は二十二名で若い社員も多数います。皆さんもこの達成感を一緒に味わってみませんか！

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



木曾土建工業株式会社

松原 靖児
(二〇〇七年入社)



事業の概要

請負事業：濁川（第六十五号）復旧治山工事

発注者：木曾森林管理署

本工事は、長野県木曾郡王滝村御岳国有林において、コンクリート谷止工一基、異形コンクリートブロック積工四百七十三個、大転石積工四四〇・一平方メートル瀨追い盛

土工一、四九四・〇立方メートルを主な工種として施工する治山工事です。



濁川（第65号）現場の様子

現場での役割、魅力

今回の工事は、堰堤の規模が大きき、今までに経験したことのない谷止工です。無事故で工期を終えるために、本土工掘削に入るまでの施工手順、仮設ヤードの位置や打設方法を検討し、現場作業員とコミュニケーションを取ることが重要になります。また、規模の大きさに加え、夏場も日陰がない厳しい環境での作業となるので、



濁川（第65号）現場の様子

熱中症対策が必要です。塩分補給のための飴や水分補給ができるような場所を確保して、作業員の体調に配慮して今後も施工していきたいと思っています。

林業土木の世界に入ったきっかけ

私は高校・専門学校と林業を学び、林業土木にも触れる機会が多くなりました。その経験から、構造物を始めから最後まで作って工事を完成してみたいと思ったこと、もともと身体を動かすことが好きだったことから、この業界を選択しました。

■未来の担い手へのメッセージ
構造物を完成させることができるときには大きな達成感があります。また、私自身十年以上この仕事をしていますが、まだ経験したことのない工事たくさんあります。多様な工事を経験できることもこの仕事のやりがいだと感じます。

林業土木の業界の課題として、体力的にきついことや、山の中の仕事であることから、若い人が進んで選択しない業界であることが挙げられます。しかし、実際にやってみるとやりの多い仕事だと感じています。より多くの若い人たちが働くことができればいいなと思っています。



起工測量をしている筆者